

大阪サミット・テーマ一覧

分科会番号	テーマ
全体シンポジウム	共生社会をつくる地域包括ケア～生活を支え合う仕組みと実践～
分科会 1	生活支援を助け合い活動で行うには、具体的にどうすればよいか
分科会 2	市区町村における庁内体制はどうあるべきか
分科会 3	住民から信頼される体制をどうつくるか～SCと協議体構成員の人選、2層圏域の設定・事務局体制など～
分科会 4	SCと協議体はどう役割を果たすか～SCと行政との連携、1層と2層の連携など～
分科会 5	目指す地域像の意義と取り組み方
分科会 6	助け合いのネットワークをつくるにあたり、既存の助け合い活動を生かすにはどうすればよいか
分科会 7	地縁の助け合い活動を活性化するには？
分科会 8	共生型常設型居場所をどう広げるか
分科会 9	有償（謝礼付き）ボランティア活動をどう広げるか
分科会 10	自動車による移動支援をどう広げるか（企画・協力：（特非）全国移動サービスネットワーク）
分科会 11	行政やSC、協議体などによる後方支援、特に補助をどのようにすればよいか
分科会 12	人生100年時代、介護問題を女性の目で見ると
分科会 13	要介護者の生活支援を助け合いで行うことができるか
分科会 14	医療・介護サービスと生活支援の助け合い活動とのネットワークをどうつくるか
分科会 15	ケアプランに生活支援の助け合い活動及び本人のいきがい活動をどう取り入れるか
分科会 16	いわゆる重度者に対する24時間在宅ケアサービスをどう組み立てるか
分科会 17	助け合いによる生活支援活動に対する寄付・遺贈などの意義と仕組みは何か
分科会 18	子どもと高齢者の交流や助け合いをどう広げるか（企画・協力：にっぽん子ども・子育て応援団）
分科会 19	小・中学校における共生教育、特に助け合いによる生活支援の理解をうながす人間教育をどう行うのが望まれるか
分科会 20	障がい者が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか
分科会 21	認知症の人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか
分科会 22	生活困窮の人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか
分科会 23	刑余者などの人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか
分科会 24	市民後見人による後見活動と生活支援活動はどう連携するのが望ましいか
分科会 25	企業OBに助け合いによる生活支援活動への参加をうながすにはどうすればよいか
分科会 26	助け合い活動にプロボノとしてどう参加するか（企画・協力：（認定特非）サービスグラント）
分科会 27	我が事・丸ごとや小規模多機能自治などの地域づくり活動と生活支援活動をどう結び付けるか
分科会 28	介護におけるエンパワーメントと自立支援のあり方は何か
分科会 29	認定介護福祉士が地域の連携強化に果たす役割
分科会 30	「民間の公益」（助け合い活動）と「行政の公益」（生活支援サービス）の関係を考える
分科会 31	都道府県は助け合いによる生活支援活動を広めるために何をすべきか
分科会 32	人口が少ない自治体における助け合いによる生活支援に関する課題と対応策は何か
分科会 33	協議体は地域ケア会議その他の類似機関と兼ねることができるか
分科会 34	社会福祉協議会の総合事業・体制整備事業における役割は何か
分科会 35	地域包括支援センターは総合事業・体制整備事業にどこまで関わるのが望ましいか
分科会 36	SCやその関係者の人事はどうあるのが望ましいか
分科会 37	工程表のつくり方～目指す地域像を実現するためのステップはどのように考えたらよいか～
分科会 38	町内会レベルのワークショップの手法は何か
分科会 39	アンケートと訪問調査を有効に行い、活用する方法とは何か
分科会 40	担い手養成講座の成果を生かす方法は何か
分科会 41	地域で行われている助け合い活動をどう再発見するか（企画・協力：（特非）全国コミュニティライフサポートセンター）
分科会 42	防災活動をどう助け合い活動に結び付けるか～助け合いマップの活用など
分科会 43	特に大都市部において地域により助け合い活動創出の可能性や手法に大きな差異がある場合に、助け合い創出の戦略をどう立てるか
分科会 44	地域の中老年男性をどう助け合い活動に引き込むか
分科会 45	住民のやらされ感を払しょくするコツと手法は何か
分科会 46	居場所にはどんな形があり得るか
分科会 47	現場視察を有効に行うには、どんな工夫をすればよいか
分科会 48	社会福祉法人はどのように社会貢献を行うか
分科会 49	時間預託をどう広めるか～NALCの実践から～（企画・協力：（特非）ニッポン・アクティブ・クラブ）
分科会 50	助け合い活動でどこまで家事支援や身体介助ができるか
分科会 51	海外では地域の助け合い活動でどれだけ高齢者の生活を支えているか（企画・協力：（一財）長寿社会開発センター 国際長寿センター）
分科会 52	在宅における介護人材の確保をどうするか～本人の尊厳・いきがいを含めて生活を支える人材の確保～
分科会 53	医師・看護師などの専門家にいきがいや助け合いの重要性をどう理解してもらうか
分科会 54	在宅での人生の最終章の過ごし方及び看取りのあり方～医療関係者の関わり方、親族のあるべき態度、助け合い活動者の関わり方など～